

# 地域景況レポート

2025年「令和7年度第3期(10月～12月期)」

## とっかけ

“名前のとおり紅梅・白梅が  
咲き誇るお寺”



境内に紅梅・白梅の  
梅林約120本が広がる  
「梅林寺」

### 真言宗智山派 福満山養泉院梅林寺

「真言宗智山派 福満山養泉院梅林寺」は、大日如来、虚空蔵菩薩（こくうぞうぼさつ）を御本尊としています。福島八十八箇所霊場第二番札所となっており、JR湯本駅から歩いて行くことができます。

お寺の名前のとおり境内には約120本の紅梅・白梅の梅林が広がり、「梅の名所」としても知られています。例年、2月下旬から3月上旬にかけて見頃を迎え、ふんわりと甘い香りが漂い、春の訪れを感じることができます。

また、秋はヒガンバナや本堂前のイチョウが鮮やかに色づき、違った雰囲気を楽しむことができます。

### 目次

- 表紙 “名前のとおり紅梅・白梅が咲き誇るお寺”  
1～5 中小企業景気動向調査の集計結果  
特別調査「2026（令和8）年の経営見通し」  
6 企業紹介「(有)丸克商店」  
7 市内の観光歴史めぐり：梅福山 報恩院 浄土宗 旧奥州惣本山 専称寺／向日葵



街の応援団・町のパートナー

ひまわり信用金庫



# 中小企業景気動向調査の集計結果

[調査対象企業数 400社]  
 [回答企業数 390社]  
 [回収率 97.5%]

景気動向調査回答企業

(先)

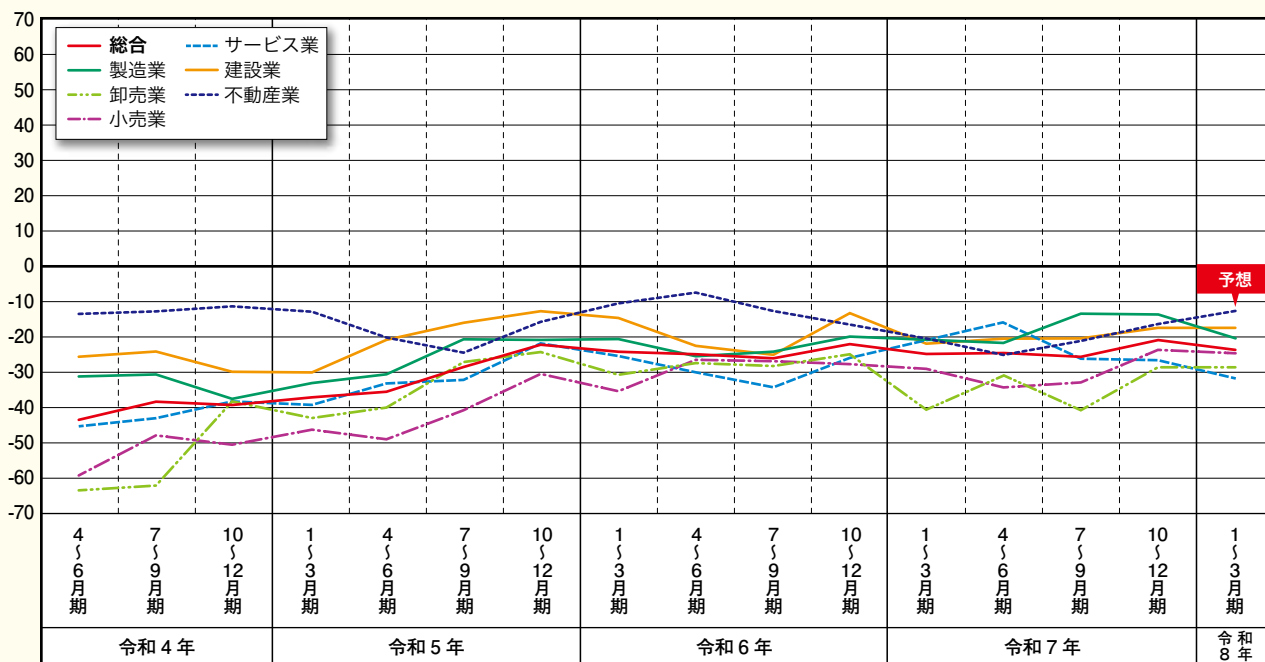
	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	計
平・内郷方部 (本店・四倉・豊間・内郷・平窪・好間・中央台支店の地域)	26	15	46	32	25	10	154
小名浜・常磐方部 (小名浜・泉・湯本・遠野・鹿島支店の地域)	29	13	37	25	27	9	140
勿来方部 (植田・錦・勿来・中岡支店の地域)	19	4	31	21	16	5	96
<b>合計</b>	<b>74</b>	<b>32</b>	<b>114</b>	<b>78</b>	<b>68</b>	<b>24</b>	<b>390</b>

## 概況

いわき市全域の業況は、やや改善するも、先行きは再びわずかに悪化する見込み。

令和7年10月～12月期の自企業の業況DIを前回調査(令和7年7月～9月期)と比較すると、いわき市全域では「悪化」超21.3%と悪化超幅が4.1ポイント縮小した。前回調査時の「今期予想」では「悪化」超を24.7%とみていたので、予想よりも悪化超幅が3.4ポイント縮小した。地域別では、平・内郷方部は「悪化」超17.5%と悪化超幅が1.3ポイント縮小した。小名浜・常磐方部は「悪化」超21.4%と悪化超幅が7.0ポイント縮小した。勿来方部は「悪化」超27.1%と悪化超幅が4.5ポイント縮小した。

先行き(令和8年1月～3月期)は、いわき市全域では「悪化」超23.6%と悪化超幅が2.3ポイント拡大することが見込まれている。



自企業の業況

※ DI (Diffusion Index) 値とは

景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値で、「とっかけ」の指標はDI値を使用しています。

## 業種別・地域別業況

製造業、サービス業が悪化した一方、卸売業、小売業、建設業、不動産業が改善した。先行きは、不動産業が改善する一方、製造業、小売業、サービス業が悪化する見込み

前回調査（令和7年7月～9月期）と今回調査（令和7年10月～12月期）を業種別に比較すると、製造業は「悪化」超13.5%と悪化超幅が0.3ポイント拡大、サービス業は「悪化」超26.9%と悪化超幅が0.9ポイント拡大した。一方、卸売業は「悪化」超28.1%と悪化超幅が12.5ポイント縮小、小売業は「悪化」超23.7%と悪化超幅が9.0ポイント縮小、建設業は「悪化」超17.6%と悪化超幅が3.0ポイント縮小、不動産業は「悪化」超16.7%と悪化超幅が4.1ポイント縮小した。

先行き（令和8年1月～3月期）は、不動産業は悪化超幅が2.3ポイント縮小する一方、製造業は悪化超幅が6.8ポイント拡大、小売業は悪化超幅が0.9ポイント拡大、サービス業は悪化超幅が5.2ポイント拡大、卸売業、建設業は今回調査と同数となることが見込まれている。

### 業種別の業況

( ) は前回調査時の今期予想 [単位: %]

業種別	令和7年7月～9月期	令和7年10月～12月期	令和8年1月～3月期(予想)
総合	▲25.4	▲21.3(▲24.7)	▲23.6
製造業	▲13.2	▲13.5(▲18.4)	▲20.3
卸売業	▲40.6	▲28.1(▲40.6)	▲28.1
小売業	▲32.7	▲23.7(▲30.4)	▲24.6
サービス業	▲26.0	▲26.9(▲21.1)	▲32.1
建設業	▲20.6	▲17.6(▲20.6)	▲17.6
不動産業	▲20.8	▲16.7(▲20.8)	▲12.5

### 地域別の業況 [方部別の推移]

[単位: %]

方部別	令和7年7月～9月期	令和7年10月～12月期	令和8年1月～3月期(予想)
いわき市全域	▲25.4	▲21.3	▲23.6
平・内郷方部 (本店・四倉・豊間・内郷・平窪・好間・中央支店の地域)	▲18.8	▲17.5	▲16.9
小名浜・常磐方部 (小名浜・泉・湯本・遠野・鹿島支店の地域)	▲28.4	▲21.4	▲22.1
勿来方部 (植田・錦・勿来・中岡支店の地域)	▲31.6	▲27.1	▲36.5

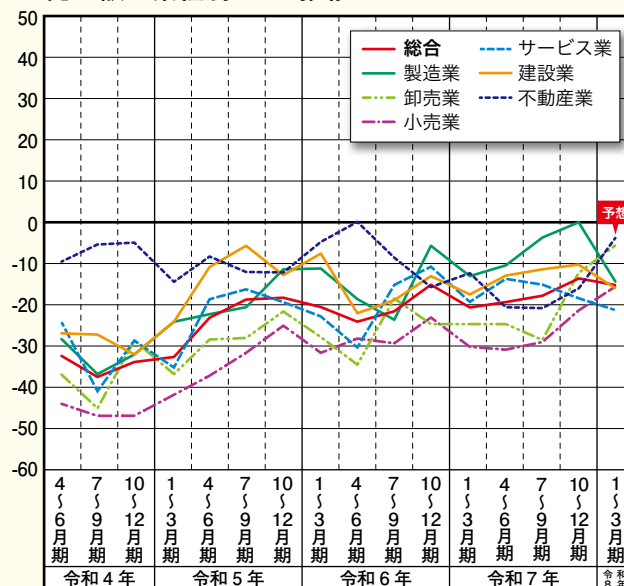
※▲は「悪化」超

### ▶ 売上額

売上額は、前回調査（令和7年7月～9月期）の「減少」超17.9%に対し、今回調査（令和7年10月～12月期）では、「減少」超13.8%と減少超幅が4.1ポイント縮小した。

先行き（令和8年1月～3月期）は、「減少」超15.4%と売上額の減少を見込まれている企業がわずかに増加している。

売上額の業種別 DI の推移



### ▶ 受注残

製造業における受注残は、前回調査（令和7年7月～9月期）の「減少」超6.6%に対し、今回調査（令和7年10月～12月期）では、「減少」超6.8%と減少超幅が0.2ポイント拡大した。

先行き（令和8年1月～3月期）は、「減少」超16.2%と受注残の減少を見込まれている企業が大きく増加している。

建設業における受注残は、前回調査（令和7年7月～9月期）の「減少」超17.6%に対し、今回調査（令和7年10月～12月期）では、「減少」超5.9%と減少超幅が11.7ポイント縮小した。

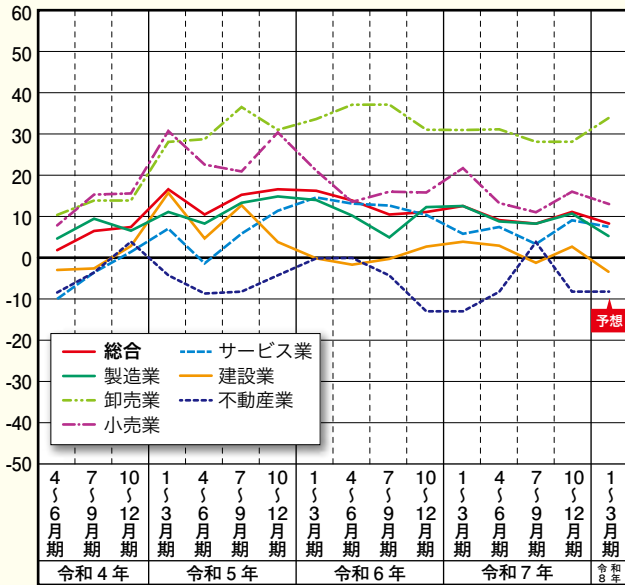
先行き（令和8年1月～3月期）は、「減少」超11.8%と受注残の減少を見込まれている企業が増加している。

### ▶ 施工高

建設業における施工高は、前回調査（令和7年7月～9月期）の「減少」超8.8%に対し、今回調査（令和7年10月～12月期）でも、「減少」超8.8%と同数となった。先行き（令和8年1月～3月期）は、「減少」超11.8%と施工高の減少を見込まれている企業がやや増加している。

## ▶▶ 販売・請負価格

販売・請負価格の業種別 DI の推移

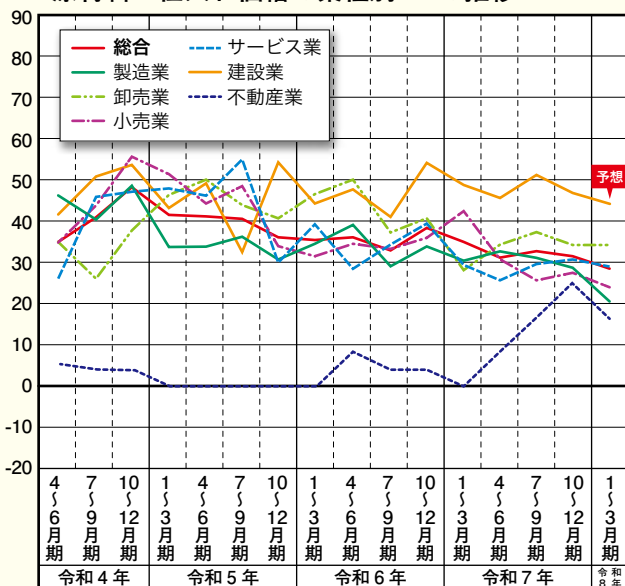


販売・請負価格は、業種全体で前回調査（令和7年7月～9月期）の「上昇」超7.9%に対し、今回調査（令和7年10月～12月期）では、「上昇」超11.0%と3.1ポイント上昇超幅が拡大した。業種別では、不動産業が「下降」超に転じた一方、建設業が「上昇」超に転じ、製造業、小売業、サービス業は上昇超幅が拡大した。

先行き（令和8年1月～3月期）は、卸売業は上昇超幅が拡大する一方、建設業は「下降」超に転じ、製造業、小売業、サービス業は上昇超幅が縮小することから、業種全体では「上昇」超8.2%と販売・請負価格の上昇を見込まれている企業がわずかに減少している。

## ▶▶ 原材料・仕入れ価格

原材料・仕入れ価格の業種別 DI の推移



原材料・仕入れ価格は、業種全体で前回調査（令和7年7月～9月期）の「上昇」超32.5%に対し、今回調査（令和7年10月～12月期）では、「上昇」超32.1%と0.4ポイント上昇超幅が縮小した。

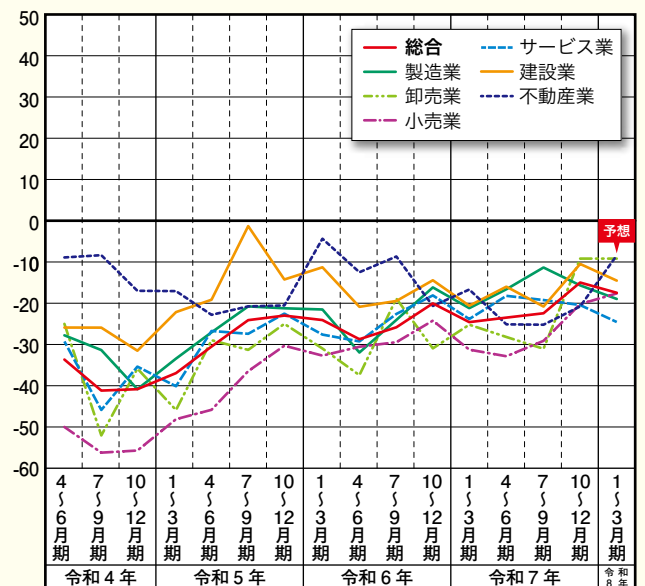
先行き（令和8年1月～3月期）は、業種全体では「上昇」超27.9%と原材料・仕入れ価格の上昇を見込まれている企業がやや減少している。

## ▶▶ 収益

収益は、業種全体で前回調査（令和7年7月～9月期）の「減少」超22.3%に対し、今回調査（令和7年10月～12月期）では、「減少」超14.9%と7.4ポイント減少超幅が縮小した。業種別では、サービス業は減少超幅が拡大した一方、その他の業種では減少超幅が縮小した。

先行き（令和8年1月～3月期）は、小売業、不動産業は減少超幅が縮小、卸売業は減少超幅が今回調査と同数となる一方、製造業、サービス業、建設業では減少超幅が拡大することから、業種全体では「減少」超17.4%と収益の減少を見込まれている企業がわずかに増加している。

収益の業種別 DI の推移



## ▶▶ 在庫

在庫の状況は、業種全体で前回調査（令和7年7月～9月期）の「不足」超5.4%に対し、今回調査（令和7年10月～12月期）では、「不足」超2.9%と不足超幅が縮小した。

先行き（令和8年1月～3月期）は、建設業、不動産業は不足超幅が縮小する一方、製造業は「不足」超に転じ、小売業は不足超幅が拡大することから、業種全体では「不足」超3.5%と在庫の減少を見込まれる企業はほぼ横ばいとなっている。

## ▶ 資金繰り

資金繰りは、引き続きすべての業種で「苦しい」超となっており、業種全体でも「苦しい」超19.7%となった。

先行き（令和8年1月～3月期）も、すべての業種で「苦しい」超としており、業種全体でも「苦しい」超19.5%となり、資金繰りは、今後も厳しい状況が続くものと思われる。

## ▶ 金融機関借り入れ状況

金融機関からの借り入れ状況は、全体の87.7%の企業が「借り入れしない」とした。

今後の借り入れ予定についても、すべての業種で「借り入れの予定なし」とした企業が「借り入れの予定あり」とした企業を上回っており、全体の93.1%の企

業が「借り入れの予定なし」としている。

また、金融機関からの借り入れ難易度は、「難しい」・「該当なし」とする企業の割合が前回調査（令和7年7月～9月期）の86.7%に対し、今回調査（令和7年10月～12月期）では、87.9%となり、借り入れは行わないとする考え方は、依然として変わっていない。

## ▶ 設備の状況

設備の状況は、9割の企業（令和7年10月～12月期90.7%、令和8年1月～3月期予想91.5%）が「適正」とした。

なお、「適正」以外の回答をみると、今回調査（令和7年10月～12月期）でも、全ての業種で「不足」・「やや不足」とする企業が「過剰」・「やや過剰」とする企業を上回ったことから、業種全体で「不足」超7.7%と前回調査と同様「不足」超の状況となった。

## 設備投資の実施・予定

上段：先数  
下段：比率（%）

業種	令和7年10月～12月期							令和8年1月～3月期							
	土地・建物	機械・新增	機械・更改	事務機器	車	両	その他	実施しない	土地・建物	機械・新增	機械・更改	事務機器	車	両	その他
総合	2 0.5	12 3.0	7 1.8	4 1.0	16 4.0	2 0.5	356 89.3	1 0.3	6 1.5	4 1.0	4 1.0	12 3.0	0 0.0	369 93.2	
製造業	1 1.3	5 6.4	4 5.1	0 0.0	5 6.4	0 0.0	63 80.8	1 1.3	4 5.1	2 2.6	0 0.0	3 3.8	0 0.0	68 87.2	
卸売業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	34 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	34 100.0	
小売業	0 0.0	—	—	3 2.4	1 0.8	2 1.6	120 95.2	0 0.0	—	—	1 0.8	1 0.8	0 0.0	124 98.4	
サービス業	0 0.0	2 2.3	1 1.2	1 1.2	5 5.8	0 0.0	77 89.5	0 0.0	1 1.2	1 1.2	1 1.2	5 5.8	0 0.0	78 90.7	
建設業	1 1.4	2 2.8	2 2.8	0 0.0	5 6.9	0 0.0	62 86.1	0 0.0	1 1.4	1 1.4	2 2.8	3 4.2	0 0.0	65 90.3	

## 経営上の問題点

（複数回答）

項目	計	業種別					
		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
売上の停滞・減少	160	26	16	54	37	19	8
人手不足	75	6	10	23	25	8	3
同業者間の競争の激化	68	16	4	9	9	23	7
大手企業（大型店）との競争の激化	55	16	—	15	4	19	1
工場（店舗）・設備（機械）の狭小・老朽化	52	16	4	32	0	—	—
利幅の縮小	43	2	0	1	0	36	4
人件費以外の経費の増加	34	10	0	11	7	5	1
販売商品（商品物件）の不足	29	—	0	24	—	—	5
取扱商品の陳腐化	28	—	0	4	24	—	—
代金回収の悪化	28	0	8	8	0	6	6
人件費の増加	25	1	10	9	0	1	4
合理化の不足	23	15	2	—	0	6	—
その他	165	34	15	44	45	26	1
問題なし	16	3	2	1	9	0	1
合計	801	145	71	235	160	149	41

## 当面の重点経営施策（経営のポイント）

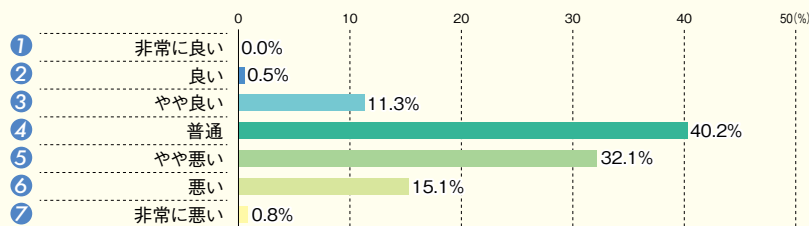
（複数回答）

項目	計	業種別					
		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
経費を節減する	219	35	18	69	43	45	9
販路を広げる	84	24	15	—	19	22	4
宣伝・広告を強化する	64	—	—	32	24	—	8
人材を確保する	49	14	4	4	7	18	2
情報力を強化する	44	15	4	—	—	15	10
品揃えを改善（充実）する	34	—	12	22	—	—	—
技術力を強化する（高める）	32	—	—	—	11	21	—
提携先を見つける	18	7	3	—	7	—	1
売れ筋商品を取り扱う	17	—	—	17	—	—	—
商店街事業を活性化させる	15	—	—	15	—	—	—
新製品・技術を開発する	11	11	—	—	—	—	—
新しい事業を始める	10	—	0	5	4	1	0
その他	43	13	1	11	12	4	2
特になし	71	13	5	29	15	5	4
合計	711	132	62	204	142	131	40

## 特別調査「2026（令和8）年の経営見通し」

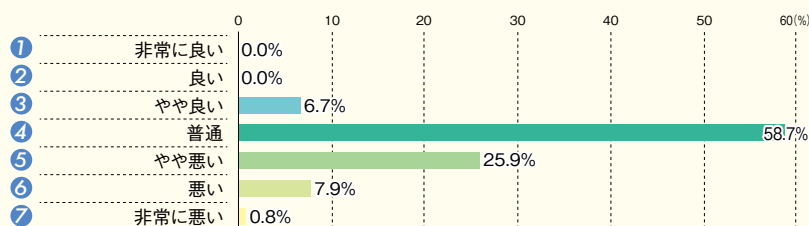
問 1

貴社では、2026年の日本の景気をどのように見通していますか。



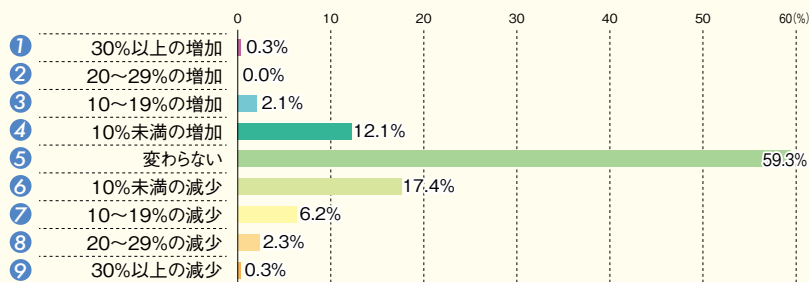
問 2

貴社では、2026年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。



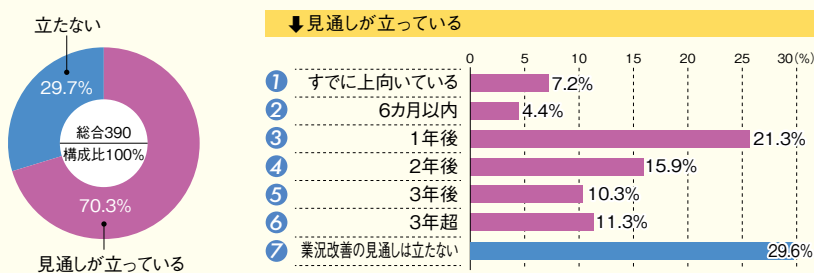
問 3

2026年において貴社の売上額の伸び率は、2025年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。



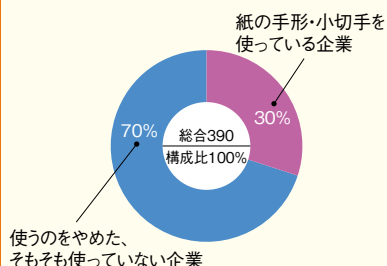
問 4

貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。

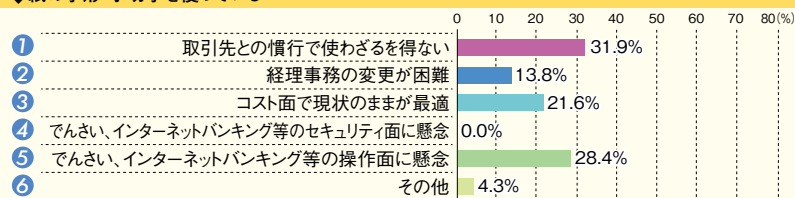


問 5

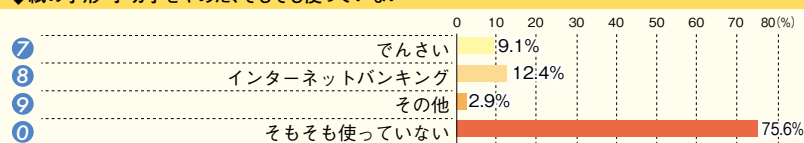
紙の手形・小切手の利用状況についてお伺いします。政府は、2027年3月末までに約束手形の利用廃止、小切手の全面的な電子化の方針を示しています。貴社では、現時点で、企業間の資金決済の手段として、紙の手形・小切手を使っていますか。



紙の手形・小切手を使っている



紙の手形・小切手をやめた、そもそも使っていない



# 企業紹介

public relations

## (有)丸克商店



社長 三浦 宏一

住所：〒971-8101 いわき市小名浜小屋ノ内33-9

電話番号：0246-54-2476

営業時間：いわき七浜料理『まるかつ』小名浜

午前8時30分～午後3時

鮮魚介類専門店 丸克商店 午前7時～午後5時

休日：不定休



弊社は昭和53(1978)年に鮮魚介類専門店として開業しました。平成元(1989)年にリニューアルし、1階を鮮魚介類専門店・丸克商店としつつ、2階にレストラン・いわき七浜料理『まるかつ』小名浜をオープンさせました。

レストランの開業当初、小名浜には100人規模の団体客を受け入れることができる食堂がほとんどなかったため、市内の観光施設等と連携して大型バスのお客様の受け入れにも取り組みました。

状況が大きく変わったのは、平成23(2011)年3月の東日本大震災の発生です。店舗1階が津波で壊滅的な被害を受け、絶望の淵に立たされましたが、多くの方々の応援もあり、半年後に再開し、現在も団体客や修学旅行生を受け入れています。

今後も新鮮な「常磐もの」を扱いながら「いわき」だからこそ味わえる「出来立てのおいしい料理」を提供し、いわきを訪れた方々の良い思い出になるよう努めてまいります。



### 【編集室から】

観光とグルメは切り離すことができません。「ご当地料理を食べたい」というのは、多くの観光客の思いです。同社は、レストランでいわきの水産ブランド「常磐もの」を使った海鮮丼やうに丼、めひかり定食などを提供し、県内外から訪れる人たちの要望にこたえています。

特徴的なのは団体客の受け入れで、レストランは最大250席を用意しています。また、焼き物などを調理するジェットオーブンや温蔵庫などの設備も充実し、大人数のお客様にも、到着時に出来立ての料理を提供されるなど、時間管理にも余念がありません。

東日本大震災から15年を経た現在も、市内には「被災時の状況」を学びに訪れる修学旅行生らが多数来店し、時には被災した三浦社長自身が「語り部」となり、講話をすることも珍しくありません。

同社は、従業員一人一人が「いわきに来た人をはっきりさせたくない」という強い想いと、「おもてなしの心」でお客様をお迎えしており、観光をベースに震災復興にも大きく貢献しています。

# 市内の 観光歴史めぐり



(所在地：いわき市平山崎字梅福山 5)

梅福山 報恩院 浄土宗  
旧奥州惣本山 専称寺  
(せんしょうじ)



▲境内には、約500本の紅梅・白梅を植栽。3月中旬～下旬に見頃を迎える＝写真提供・いわき観光まちづくりビューロー



いわき市には、多くの観光歴史名所、文化財があります。

「市内の観光歴史めぐり」として、国指定重要文化財をはじめ数多くの文化財が残っている「梅福山 報恩院 浄土宗 旧奥州惣本山 専称寺」を紹介します。

専称寺は、1395（応永2）年、成蓮社良就上人十聲が開創した寺院で、浄土宗名越派の壇林（僧侶の養成機関、仏教宗派の学問所）として発展し、六世良大の時に勅願所（天皇・上皇の勅願により、鎮護国家・玉体安穩などを祈願する寺社）となったと言われています。

近世には、名越派の伝法を行う壇林の一つとして、後に名越四本山と呼ばれた寺院の中で最多の末寺を持ち、東北地方を中心とした浄土宗名越派総本山の寺院となりました。

建造物として国指定重要文化財に指定されている総門、本堂、庫裏（くり）や、いわき市指定有形文化財に指定されている鐘楼堂、開山堂のほか、福島県指定重要文化財に指定されている古文書、いわき市指定有形文化財に指定されている彫刻、工芸品も残されています。

また、境内には、檀家からの寄進による約500本の紅梅・白梅が植栽されており、例年、3月中旬から下旬にかけて見頃を迎え、「梅のお寺」としても知られています。その景観が評価され、境域は福島県指定史跡・名勝に指定されています。

## column 向日葵

日本銀行福島支店が12月に公表した2025年12月分の福島県

金融経済概況は、県内景気は、足踏みしている。

最終需要の動向をみると、個人消費は、横ばい圏内の動きとなっている。住宅投資は、減少している。設備投資は、緩やかに持ち直している。公共投資は、下げ止まりつつあると公表されております。

当金庫の令和7年10月～12月期の景気動向調査では、いわき市全域の業況は「悪化」超21.3%と前回調査（令和7年7月～9月期）と比較すると、やや改善しましたが、先行きは再びわずかに悪化することが見込まれています。また、資金繰りについては、依然としてすべての業種で「苦しい」超となっており、先行きについても、すべての業種で「苦しい」超となっています。

当金庫は、今後もお客様の様々な課題解決のお手伝いをさせていただきたくため、お客様に寄り添い、積極的にかつ迅速に取り組んでまいります。

発行／ひまわり信用金庫

〒970-8026 いわき市平字二町目10

編集／総務部 総務グループ TEL.0246-23-8500

☞ <https://www.shinkin.co.jp/himawari/>

▶『とっかけ』とは 「始める」「取りかかる」という意味のいわき地方の方言です。この情報を、何かを始めようとする時のきっかけ、取っかかりにして頂ければ幸いです。